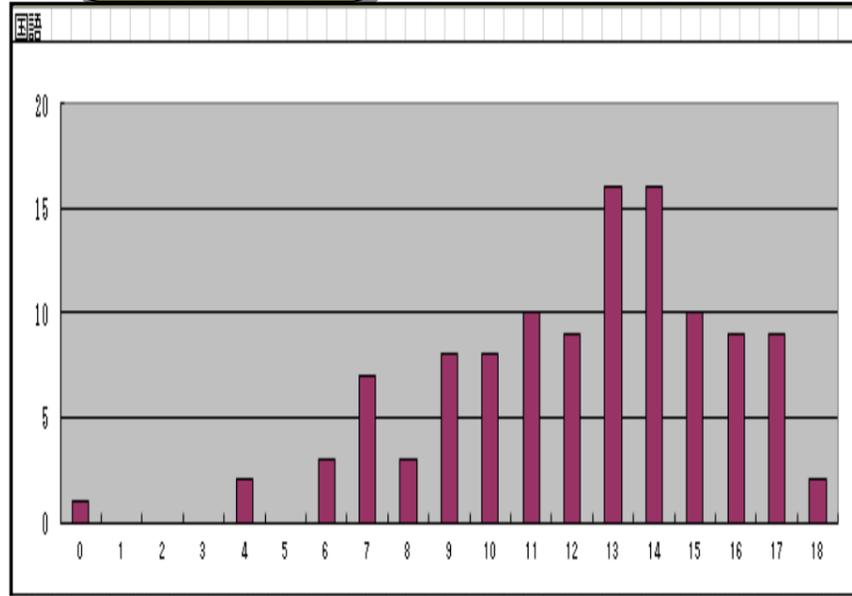


学力調査（5年）結果の分析・課題解決について

正答数分布



観点別正答率

A 教科の内容		
教科	学年	都
国語	68.0%	67.6%

A 教科の内容

話す・聞く		書く		言語		読む	
学年	都	学年	都	学年	都	学年	都
65.2%	65.3%	64.9%	70.4%	70.8%	67.4%	67.8%	67.4%

調査問題から

- ②【言語についての知識・理解・技能】38.9%
(1) ねらいをサダ(定)めて。
- ④【読む能力】45.1%
(1) 「キワさん」が「いや、だいじょうぶだ。」と言った理由として、最もふさわしいものを、次のアからエまでも中から一つ選びましょう。
- ⑤【書く能力】44.2%
(3) さわ子さんは、手紙の後付け(終わりの部分)を書こうとしています。後付けの書き方として、もっともふさわしいものを、次のアからエまでの中から一つ選びましょう。
- ⑧【言語についての知識・理解・技能】52.2%
(2) 毎日、友だちといっしょに校庭を走る。
ア 友だちと イ いっしょに ウ 校庭を エ 走る

明らかに
なった課題

- 全体の傾向
13問以上できた児童の割合が、約54%である
(東京都の正答率67.6%)
※東京都の正答率を超えている子の%
- 上位層・下位層の割合
90%以上の正答率は約9%(昨年度約25%)
60%未満の正答率は約28%(昨年度約42%)
と、上位層が16%減少、下位層14%増加している。

- 教科の内容 (前年度比)

 - ・▼話す・聞く(−0.1%)
 - ・▼書く(−5.5%)
 - ・△言語(+3.4%)
 - ・△読む(+0.8%)

○誤答分析

- ・一読して、要旨を捉えられていない。
- ・浅く読んでおり、情景を思い浮かべたり、最後まで読んだりせずに答えてしまう。
- ・手紙やはがきの書き方に慣れていない。
- ・指示語が指し示すものを読めていない。

学校

- ・国語の授業で調べて発表する機会を作り、話の中心を意識して発表原稿を作る。
- ・朝の一分スピーチに取り組み、聞いた話を要約し、感想や質問を伝える。
- ・授業では、友達と話し合う時間を設定し、自分の考えと比べながら話したり書いたりする活動を行う。(メモの指導も行う。)
- ・主語、述語、修飾語の問題に取り組む。その際、文節指導も行い、どの言葉がどの言葉を修飾しているのか繰り返し指導する。
- ・漢字テストを細かに行う。
- ・文章問題の解き方や注意点について指導する。(要旨の把握、指示語等)
- ・手紙やはがきを書く機会を設ける。
- ・朝読書の時間を使って、新聞を読み、要約したり要旨をとらえたりする。

家庭

- 日常的な取組
 - ・音読や暗唱を行う。
 - ・新出漢字や既習漢字の読み書きを繰り返し行う。
 - ・読書の推進
- 長期休業日等での取組
 - ・文章問題の宿題を出す。

解決策